

## 通貨選択型投資信託に関する確認書

1. 私は、本商品に関し、投資対象資産の価格変動リスクに加えて複雑な為替変動リスクについて、目論見書等を熟読し、十分理解しました。

2. 私は、本商品について、特に次に掲げる事項について、目論見書等に基づき、十分理解しました。

① 投資対象資産が値上がりした場合や利子・配当が支払われた場合は、基準価額の上昇要因となり、逆に、投資対象資産が値下がりした場合には、基準価額の下落要因となること。

② 「選択した通貨」(コース)の短期金利が、投資信託の「投資対象資産の通貨」の短期金利よりも高い場合は、その金利差による「為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)」が期待できるが、逆に、「選択した通貨」(コース)の短期金利のほうが高い場合には、「為替取引によるコスト(金利差相当分の費用)」が発生すること。

③ 「選択した通貨」の円に対する為替変動の影響により、「選択した通貨」の対円レートが上昇(円安)した場合は、為替差益を得ることができるが、逆に、「選択した通貨」の対円レートが下落(円高)した場合は、為替差損が発生すること。

※ ファンドの表示通貨が円以外の場合には、③においては「円」を「当該ファンドの表示通貨」と読替えるものとします。

※ 「選択した通貨」が「ファンドの表示通貨」と同一の場合には③は該当しないものとします。

(注) 上記①～③の事項が同時に生じることにより、損失が拡大する可能性もあります。

私は、上記1～2を踏まえ、私の判断と責任において通貨選択型投資信託の取引を行うことをここに確認いたします。

(2013年3月1日)